

スカパーJSATグループ
2016年度 通期決算説明会

2017年5月19日(金)

株式会社スカパーJSATホールディングス

将来の見通しに関する記述について

本説明資料に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、現在入手可能な情報にもとづく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。このようなリスクや不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものには、以下のようなものが含まれます。なお、リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんのでご留意下さい。

《経営全般に関するリスク》

- 当社グループの事業に係わる法的規制等による事業の制約のリスク
- 顧客情報のセキュリティ及び顧客情報管理システムの障害に関するリスク
- 大規模災害による重大設備障害に関するリスク

《衛星インフラに関するリスク》

- 通信衛星の機能不全や運用能力低下に関するリスク
- 通信衛星調達に関するリスク
- 衛星への保険付保に関するリスク

《有料多チャンネル放送プラットフォームサービスに関するリスク》

- 加入者獲得、維持に関するリスク
- 放送事業者に関するリスク
- システムに関するリスク
- ICカードのセキュリティ等に関するリスク

通期連結決算概要

損益概要

- 官公庁向け衛星等設備売却により前年度比増収増益
- 過去最高営業収益、営業利益達成

(単位:百万円)

	FY2015 通期累計	FY2016 通期累計	増減率
営業収益	162,905	192,875	18.4%
営業利益	24,210	24,433	0.9%
経常利益	24,012	24,875	3.6%
親会社株主に帰属 する当期純利益	16,867	17,415	3.2%
EBITDA ^{*1}	46,669	47,724	2.3%

*1. EBITDA = 当期純利益 + 税金費用 + 減価償却費 + のれん償却費 + 支払利息

セグメント別連結業績の推移(2015年度 1Q ~ 2016年度 4Q)

■ 有料多チャンネル事業: 視聴料収入減少により前年度比減収減益

■ 宇宙・衛星事業: 官公庁向け衛星等設備売却(第4四半期)により前年度比増収増益

(単位:百万円)

	2015年度					2016年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
営業収益	41,122	40,633	41,710	39,438	162,905	39,707	39,610	38,806	74,750	192,875
有料多チャンネル事業	30,904	30,636	29,690	29,184	120,415	30,095	29,882	29,130	27,668	116,777
宇宙・衛星事業	13,320	13,098	14,992	13,187	54,599	12,626	12,718	12,580	49,822	87,748
消去又は全社	△3,102	△3,101	△2,972	△2,932	△12,109	△3,013	△2,990	△2,905	△2,740	△11,650
営業利益	5,855	5,015	7,689	5,650	24,210	6,266	4,795	4,468	8,903	24,433
有料多チャンネル事業	1,307	772	3,087	1,074	6,241	1,861	1,023	1,135	551	4,571
宇宙・衛星事業	4,714	4,407	4,752	4,738	18,611	4,585	3,937	3,488	8,515	20,527
消去又は全社	△166	△164	△150	△162	△643	△180	△165	△155	△164	△665

有料多チャンネル事業の主要指標(*)

- 新規加入不調、Jリーグ放映権喪失に伴う加入者減少もあり、純増数は△16.2万件

	FY2015	FY2016
新規加入件数(万件)	44.3	35.0
純増数(万件)	2.1	△16.2
累計加入件数(万件)	348.2	332.0
加入者月額支払単価(¥)	3,335	3,291
ARPU(¥)	2,191	2,133
SAC単価(¥)	33,018	39,274

* スカパー！、スカパー！プレミアムサービス、スカパー！プレミアムサービス光の合計値

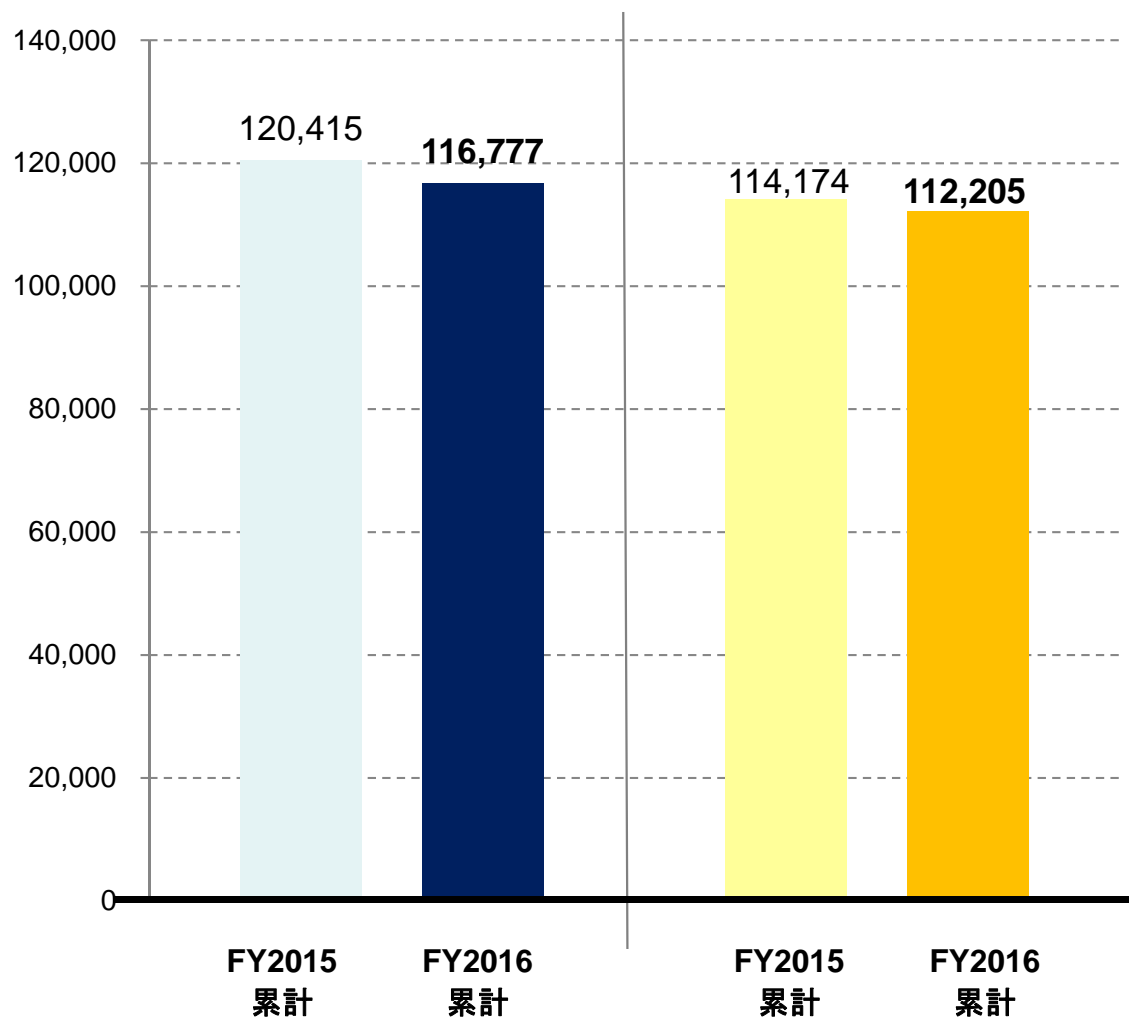
有料多チャンネル事業の業績概況：前年度比較

有料多チャンネル事業

(単位：百万円)

営業収益

営業費用



営業収益(▲36.3億円)*

<主な増減要因>

* セグメント間内部取引を含む。

- スカパー！業務手数料収入増加：+6億円
- プレミアム視聴料収入の減少：△29億円
- その他収入の減少：△13億円

営業費用(▲19.6億円)*

<主な増減要因>

* セグメント間内部取引を含む。

- プレミアム番組供給料の減少：△12億円
- 広告宣伝費の減少：△8億円
- その他費用の増加：+1億円

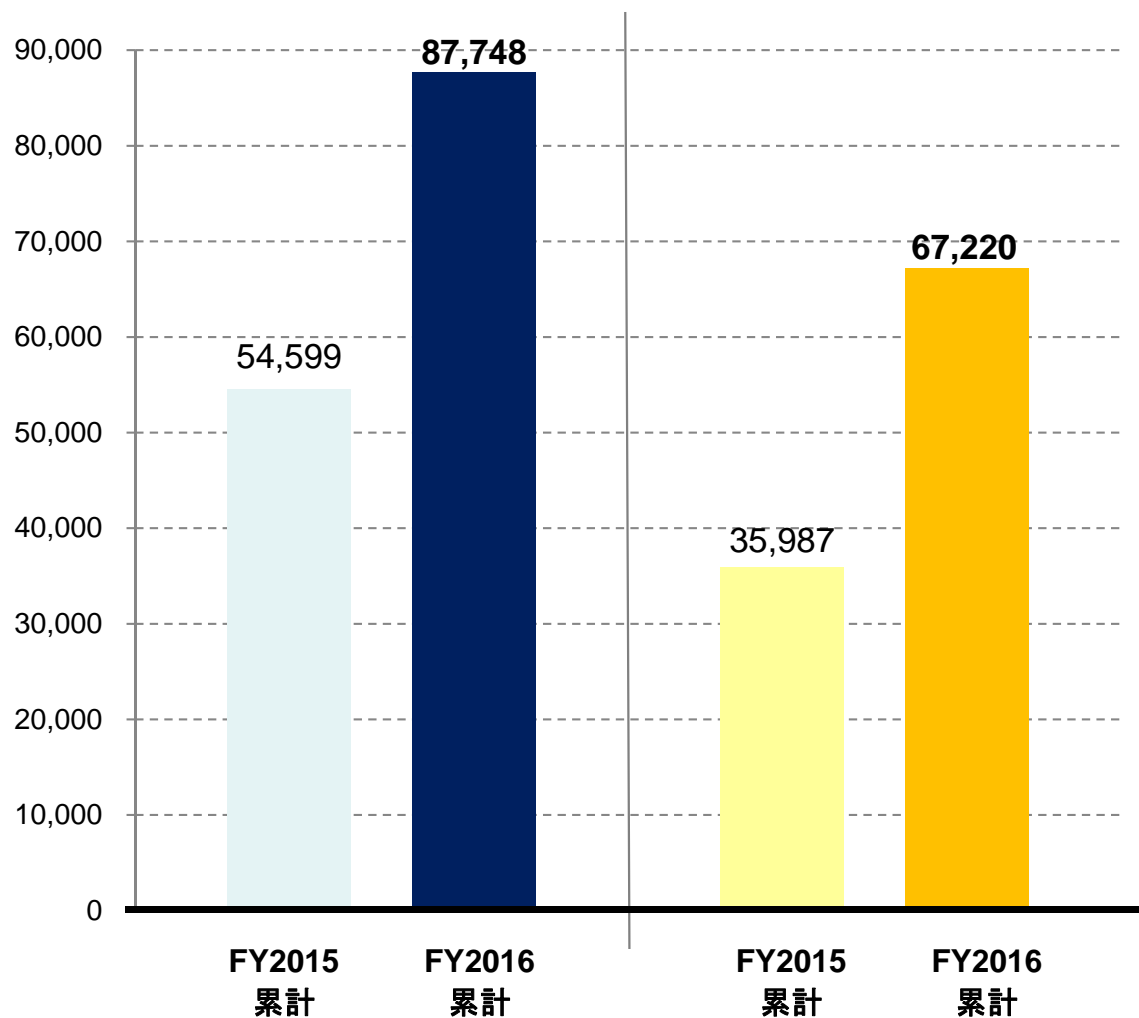
宇宙・衛星事業の業績概況：前年度比較

宇宙・衛星事業

(単位：百万円)

営業収益

営業費用



営業収益(+331.4億円)*

<主な増減要因>

* セグメント間内部取引を含む。

- 通信衛星及び関連設備の売却等：+369億円
- 災害対策用ネットワーク管制局設備の販売の剥落
：△20億円
- 海外顧客の売上減少：△17億円
- その他の減少：△1億円

営業費用(+312.3億円)*

<主な増減要因>

* セグメント間内部取引を含む。

- 衛星事業原価等：+299億円
- 衛星減価償却費の増加：+13億円

2017年度業績予想

2017年度連結業績予想

- 官公庁向け衛星売却案件の剥落、減価償却費の増加に伴い、前年度比減収減益

(単位:百万円)

	2016年度 通期実績	2017年度 通期予想	増減率
営業収益	192,875	153,500	△20.4%
営業利益	24,433	17,000	△30.4%
経常利益	24,875	17,500	△29.6%
親会社株主に 帰属する当期純利益	17,415	11,500	△34.0%
EBITDA	47,724	44,000	△7.8%

EBITDA=(当期純利益)+(税金費用)+(減価償却費)+(のれん償却額)+(支払利息)

2017年度セグメント別業績予想

■ 有料多チャンネル事業

視聴料収入の減少に伴い、前年度比減収減益

■ 宇宙・衛星事業

官公庁向け衛星等設備売却案件剥落、衛星減価償却費増加に伴い、減収減益

(単位:百万円)

()内は2016年度実績

	2017年度(通期予想)			連結合計
	有料多チャンネル事業	宇宙・衛星事業	消去又は全社	
営業収益	112,700 (116,777)	52,200 (87,748)	△11,400 (△11,650)	153,500 (192,875)
営業費用	109,000 (112,205)	38,400 (67,220)	△10,900 (△10,984)	136,500 (168,441)
営業利益	3,700 (4,571)	13,800 (20,527)	△500 (△665)	17,000 (24,433)

2017年度加入目標

	2016年度 加入実績	2017年度 加入目標
前年度末累計加入件数	348.2万件	332.0万件
新規加入合計	35.0万件	39.0万件
スカパー！	28.0万件	32.3万件
スカパー！プレミアムサービス	6.2万件	6.0万件
スカパー！プレミアムサービス光	0.8万件	0.7万件
解約率	19.5%	16.7%
純増数	△16.2万件	1.0万件
年度末累計契約者数(加入件数)	332.0万件	333.0万件

スカパー！オンデマンド

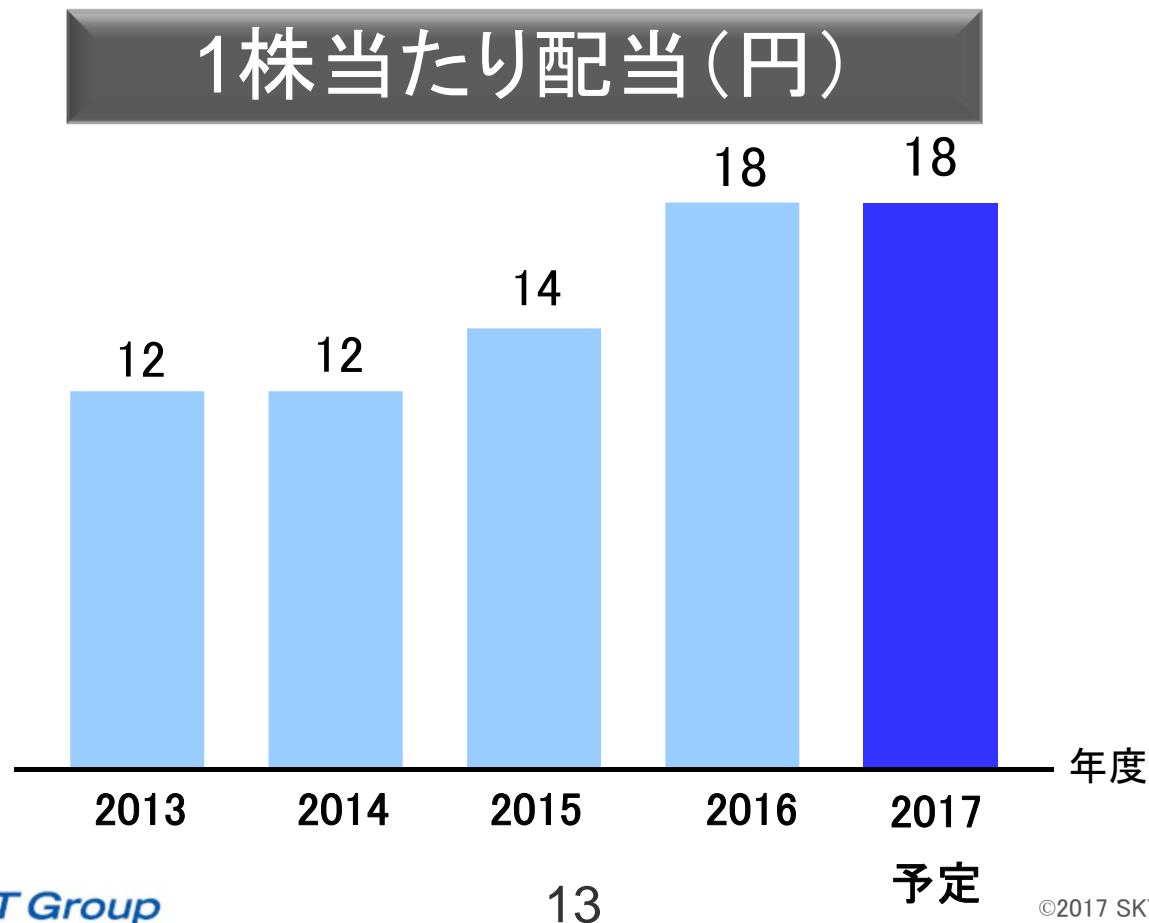
年度末3月 有料商品契約者数	2.7万件	4.0万件
累計登録者数	114.0万件	132.0万件

2017年度配当予定

- 16年度は15年度より1株あたり4円増額し年間18円の配当を実施。
17年度も年間18円の配当を実施予定。

配当方針： 以下の条件を満たす配当額を実施

- ・1株あたり年間16円以上
- ・配当性向30%以上



今後の取り組み
～有料多チャンネル事業～

有料多チャンネル事業部門の改革

■ 有料多チャンネル事業の領域を超えて、新たな事業展開を目指す

- ✓ 有料多チャンネル事業部門 → 「メディア事業部門」
- ✓ 放送事業本部 → 「コンテンツ事業本部」
- ✓ カスタマー事業本部 → 「プラットフォーム事業本部」

■ 事業基盤(既存顧客／チャンネル)を活かした新たな展開

- ✓ コンテンツの収益力追求
視聴料のみから「視聴料 + 広告 + 二次利用」へ
- ✓ 広告収益の拡大
自主チャンネルでのセールス本格化
WAKUWAKU JAPANにて、国内発海外向け広告を展開
国内・海外向け広告営業部署の新設
- ✓ ネット配信の拡大
全チャンネルIPリニア配信などを目指し、体制を強化
- ✓ 事業拡張の取り組み強化
新規事業強化＋企業連携本格化に向けた体制整備

コンテンツの差別化

■オリジナルアニメ



©アダチケイジ・森高夕次 / 講談社

✓ アニメ「グラゼニ」
(BSスカパー！・2018年放送予定)

■スポーツ



✓ UEFAチャンピオンズリーグ16/17 決勝
ユベントス×リアルマドリード
(スカサカ！/スカパー！4K総合・6月3日深夜放送)



©MotoGP.com

✓ 2017 MotoGP 全18戦 全クラス予選&決勝 完全生中継
(日テレジータス/BSスカパー！)

■音楽



✓ YUZU 20th Anniversary DOME TOUR 2017 ゆずイロハ
(BSスカパー！・6月4日生中継)

■オリジナルドラマ



©渡辺航(週刊少年チャンピオン) 2008 / スカパー！・東宝・舞台「弱虫ペダル」製作委員会

✓ BSスカパー！オリジナル連続ドラマ「弱虫ペダル」
(BSスカパー！・2017年放送予定)

サッカーセット改編

■2月1日「スカパー！サッカーセット」が誕生

- ✓ 概要:UEFAチャンピオンズリーグ・ヨーロッパリーグ、セリエA、W杯欧州予選に加えて、ルヴァンカップや天皇杯、ユース・育成年代などの国内サッカーが見られる新しいサッカーセット！
- ✓ 料金:2,980円/月(税込)
- ✓ 販売開始:2017年2月1日



「U-16 インターナショナルドリームカップ2017 JAPAN
presented by 朝日新聞」
6月14日～ U-16日本代表戦全試合を生中継
※写真:2016年大会

JリーグMAX／JリーグMAXプレミアム／J2プレミアムの
解約をスカパー！サッカーセットで取り戻していく

- ✓ 3月10日より「スカパー！サッカーオンデマンド」販売開始



放送品質の向上／高度化

■ 4K左旋試験放送

- ✓ 放送サービス高度化推進協会(A-PAB)により4K左旋試験放送開始

■ 4K HDR放送の取り組み

- ✓ 4月12日 2017JリーグYBCルヴァンカップ(横浜F・マリノス VS ヴィッセル神戸)にて4K HDR生中継実施
- ✓ 同中継には、スカパー・ブロードキャスティングの4K HDR中継車を使用



IPサービス展開の拡大

■ PC、スマホ、タブレットに加えて、スマートテレビ向けIPサービスを開始予定

リニアチャンネル配信数 62チャンネル(2017年4月末)

- ✓ 2016年10月 「スカパー！オンデマンドアプリ」リリース
- ✓ 2017年 4月 スカパー！オンデマンド WEBブラウザのUIリニューアル
- ✓ 2017年11月予定 スカパー！オンデマンドのテレビ向けアプリ展開
- ✓ 2017年12月予定 ハイブリッドキャストを利用した放送・通信融合サービス展開

【参考】テレビ向けIPサービス対象テレビ 市場規模想定

2017年末 約764万台 → 2020年末 約2,400万台

※ハイブリッドキャスト対応テレビ

※想定対象台数の2017年末数値は当社推定値、2020年末数値はJEITA予測



※ソニー 液晶テレビ ブラビア Android TV機能(イメージ)

今後の取り組み
～宇宙・衛星事業～

新規衛星投入による収益の拡大

Horizons 3e

HTS

- ・アジア・太平洋地域をカバー
- ・航空機や船舶向け通信需要に対応

【2018年下期打ち上げ予定】

JCSAT-18

HTS

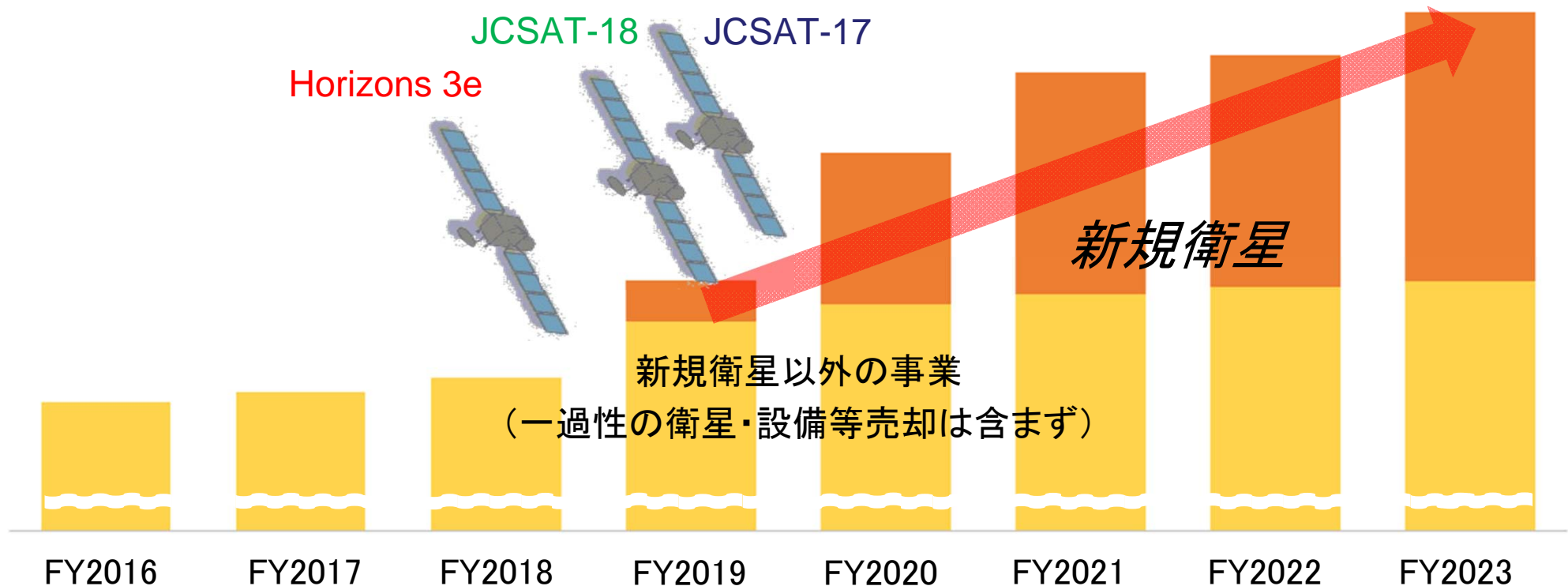
- ・アジア太平洋から極東ロシアをカバー
- ・Kacific Broadband Satellite社との共同衛星
- ・モバイルやブロードバンド需要に対応

【2019年下期打ち上げ予定】

JCSAT-17

- ・日本を含む東アジアをカバー
- ・主に日本国内顧客の需要に対応

【2019年下期打ち上げ予定】



低軌道衛星ビジネスへの取り組み①

■ 低軌道衛星の運用受託及びデータ受配信サービス

- ✓ 茨城ネットワーク管制センターに専用アンテナを設置
- ✓ 国内機関と利用契約を締結済み

■ KSAT社※と戦略的業務提携を締結

- ✓ 当社地上局とKSAT社の地上局ネットワークとを連携
- ✓ アクセルスペース社や大規模低軌道衛星運用事業者に提案中。
- ✓ オイル漏れ、不審船等の検出サービスの販売開始

※KSAT社について

社名: Kongsberg Satellite Service

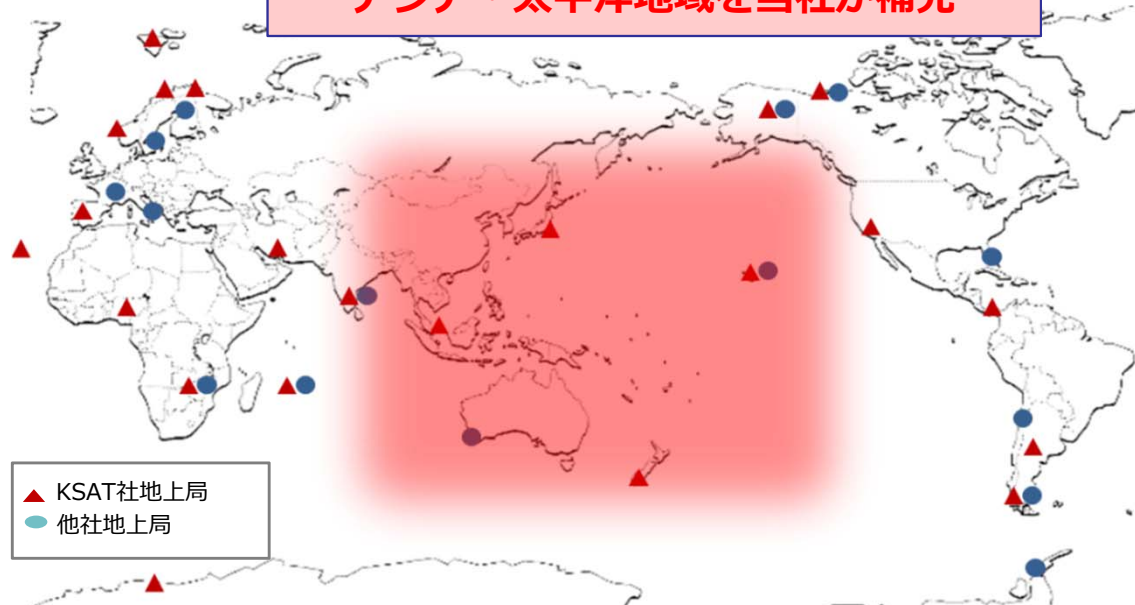
設立: 2002年

本社: ノルウェー

特徴: 世界中に多数の低軌道衛星地上局を設置している
大手地上局サービス事業者
北極と南極での地上局サービスを世界で初めて提供



他地域と比較して地球局配備が手薄な
アジア・太平洋地域を当社が補完



低軌道衛星ビジネスへの取り組み②

■ Planet社※との地球観測衛星ビジネス

- ✓ 2017年2月に衛星88機の打ち上げ成功し、149機体制となり撮影頻度が大幅に増加
- ✓ 複数の国内機関と画像販売契約を締結

※Planet社について



設立:2011年

本社:米国サンフランシスコ

多数の超小型衛星(通称:Dove)により低価格・高頻度な衛星画像を実現

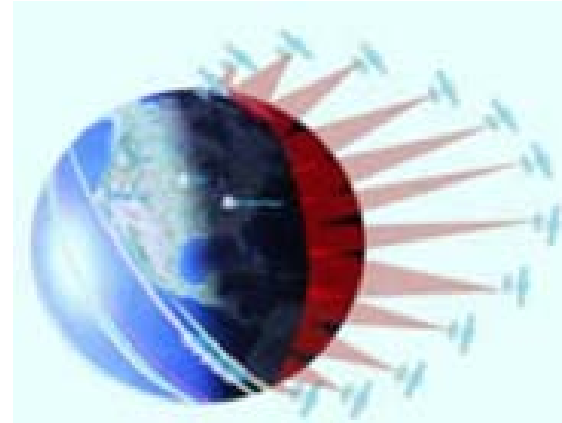


日本国内では(株)衛星ネットワークが独占販売。



超小型衛星

【Planet社衛星の特徴】



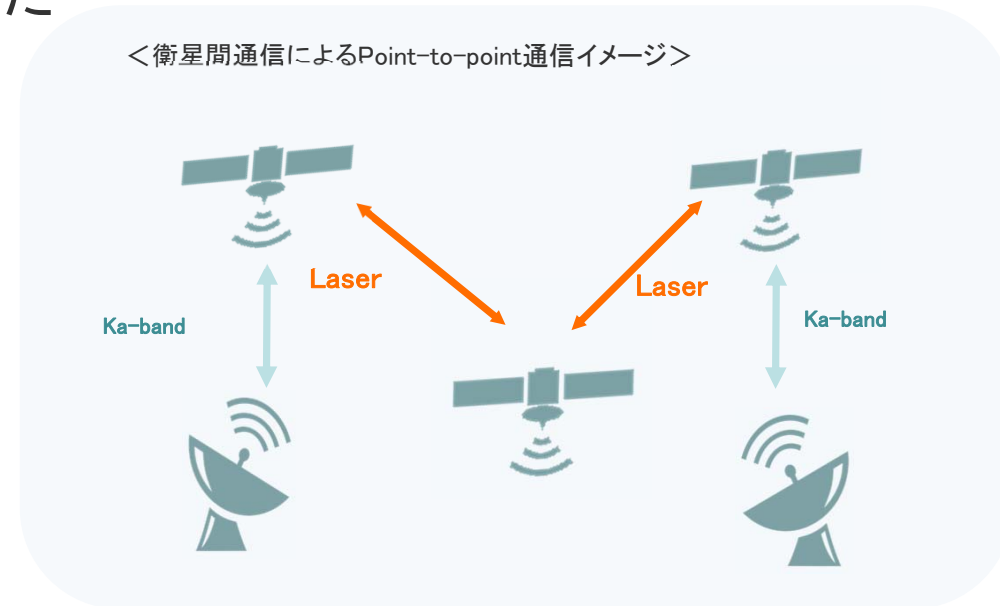
- ・地球を常時撮影
- ・地上分解能は3~3.7m
- ・全球の画像をアーカイブ
場所や時間等で目的画像を検索可能
- ・画像価格は安価

■ 低軌道衛星による通信事業への取り組み

- ✓ 低軌道衛星コンステレーションによる通信サービスを計画中のLeoSat社への出資参画を決定
- ✓ 低軌道衛星通信事業の立ち上げに向けた準備・検証を共同で実施

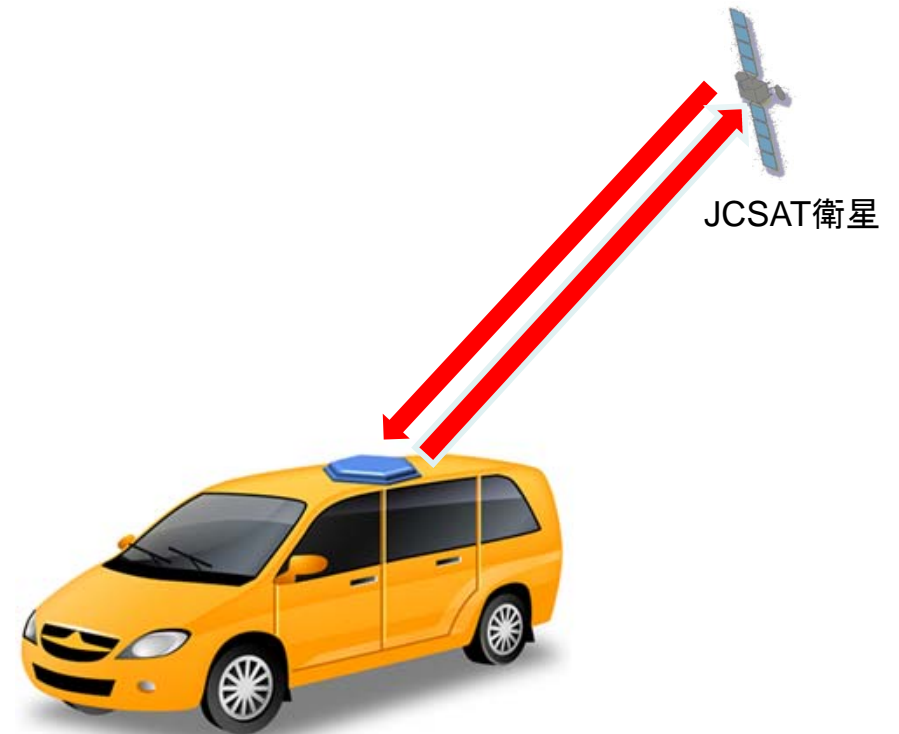
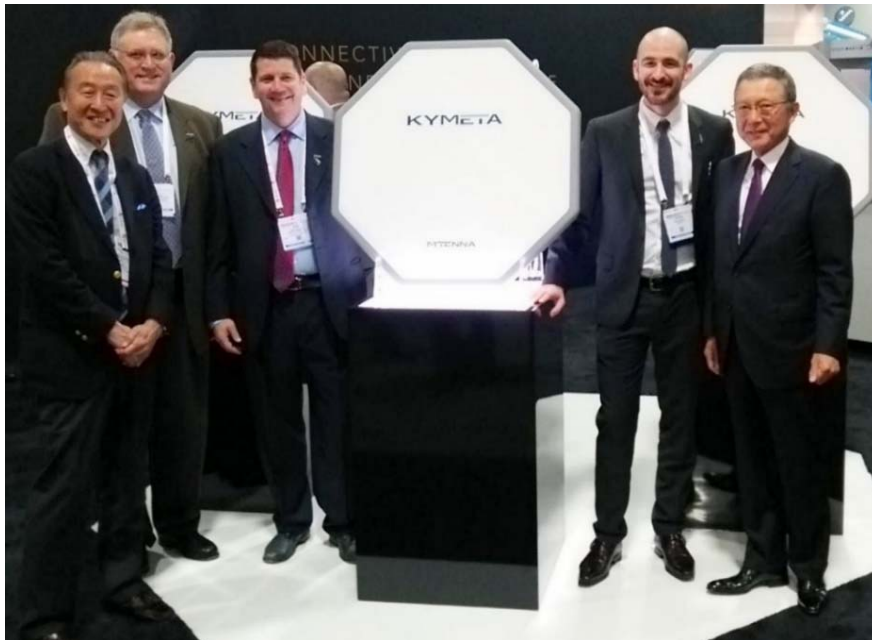
■ 本事業の特徴

- ✓ 最大108機の低軌道衛星を打ち上げ
- ✓ 衛星間にレーザー通信網を構築しPoint to Pointの低遅延かつ高セキュリティなネットワークを実現



■ Kymeta社への出資と戦略的業務提携

- ✓ 衛星を追尾可能な画期的な技術により、コネクテッドカーにも対応した小型・省電力送受信を実現
- ✓ 船舶や航空機等の移動体へも容易に設置可能
- ✓ 2017年夏頃に日本国内にてアジア初のデモンストレーション実施予定
- ✓ 官公庁等の特殊車両での利用等を皮切りに、衛星回線を含めたトータルソリューションを提案



ドローンビジネスへの取り組み

■ エンルート事業体制の強化

- ✓ 組織再編と人的交流により、製造・販売体制、研究・開発能力の強化を目指す

■ ヤマハ発動機(株)との協業

- ✓ 農薬散布用無人ヘリ分野最大手のヤマハ発動機(株)と業務提携の検討を開始
- ✓ 産業用ドローンのグローバル展開や以下分野の新規市場を開拓する
 - ・ 各種インフラ点検
 - ・ 測量
 - ・ 環境対策
 - ・ 災害対応
 - ・ 運輸
 - ・ 漁業



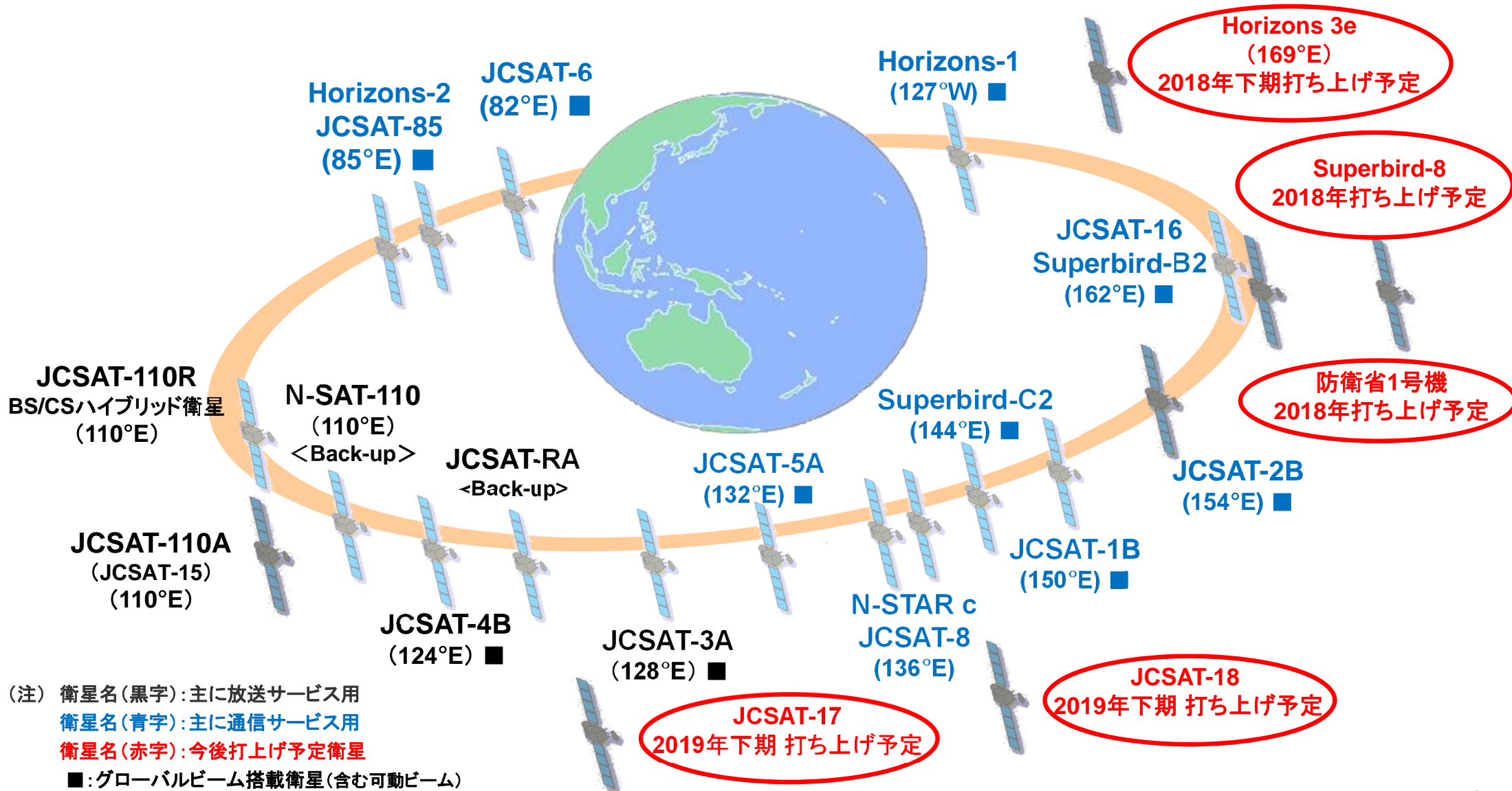
ヤマハ社製 産業用無人ヘリ
「FAZER R」

エンルート社製 農業用マルチコプター
「AC940-D」

各軌道における取り組み



北米上空からインド洋上空まで計18機の衛星を保有

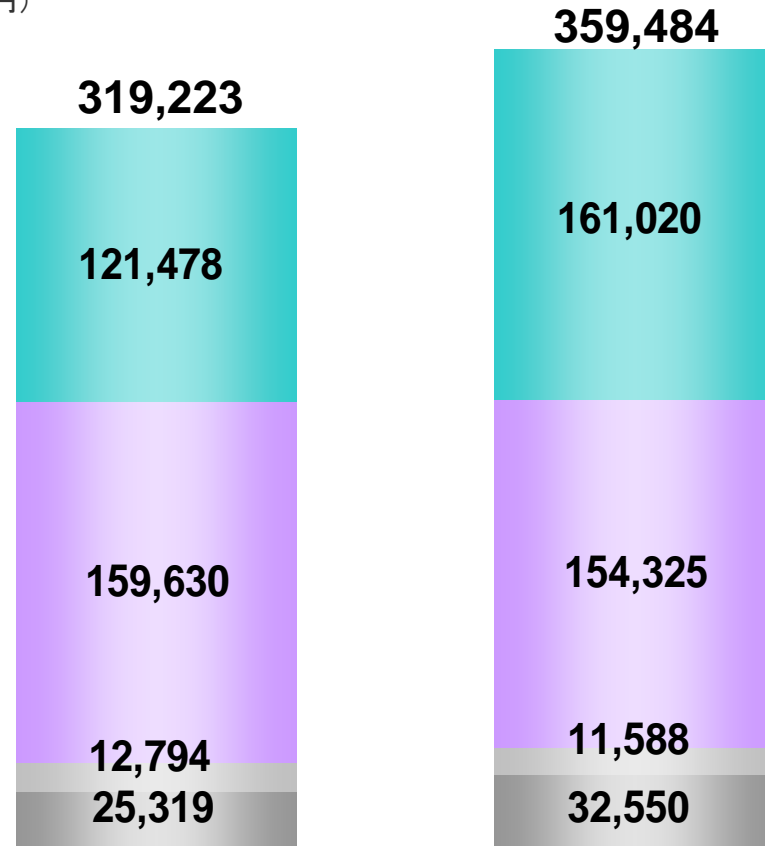


(参考資料)

連結貸借対照表

資産

(単位:百万円)



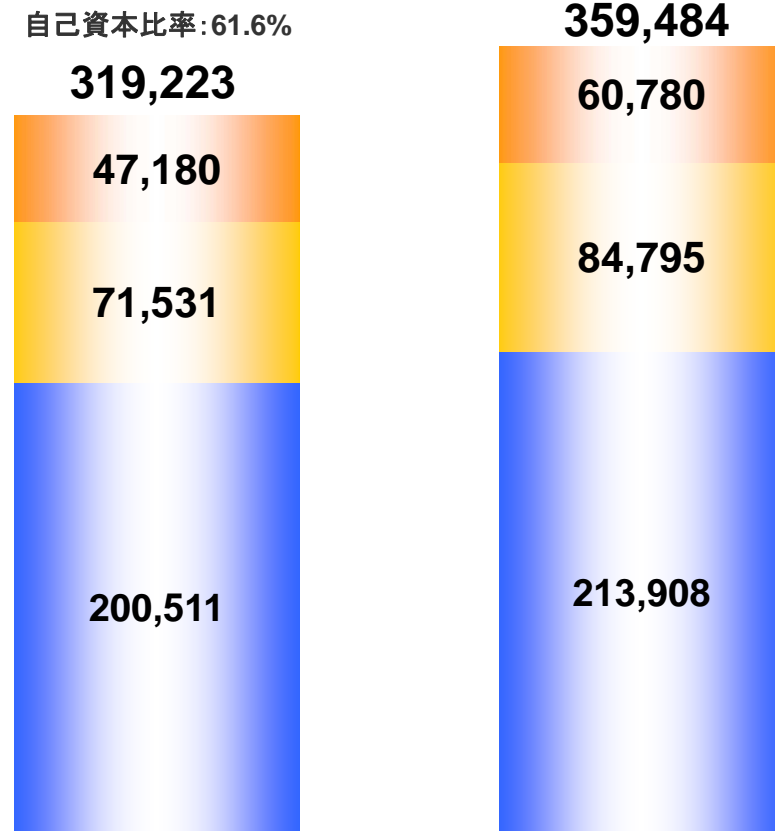
2016年3月末

2017年3月末

負債・純資産

(単位:百万円)

自己資本比率:58.6%



2016年3月末

2017年3月末

■ 流動資産
 ■ 有形固定資産
 ■ 無形固定資産
 ■ 投資その他資産
 ■ 流動負債
 ■ 固定負債
 ■ 純資産

連結キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

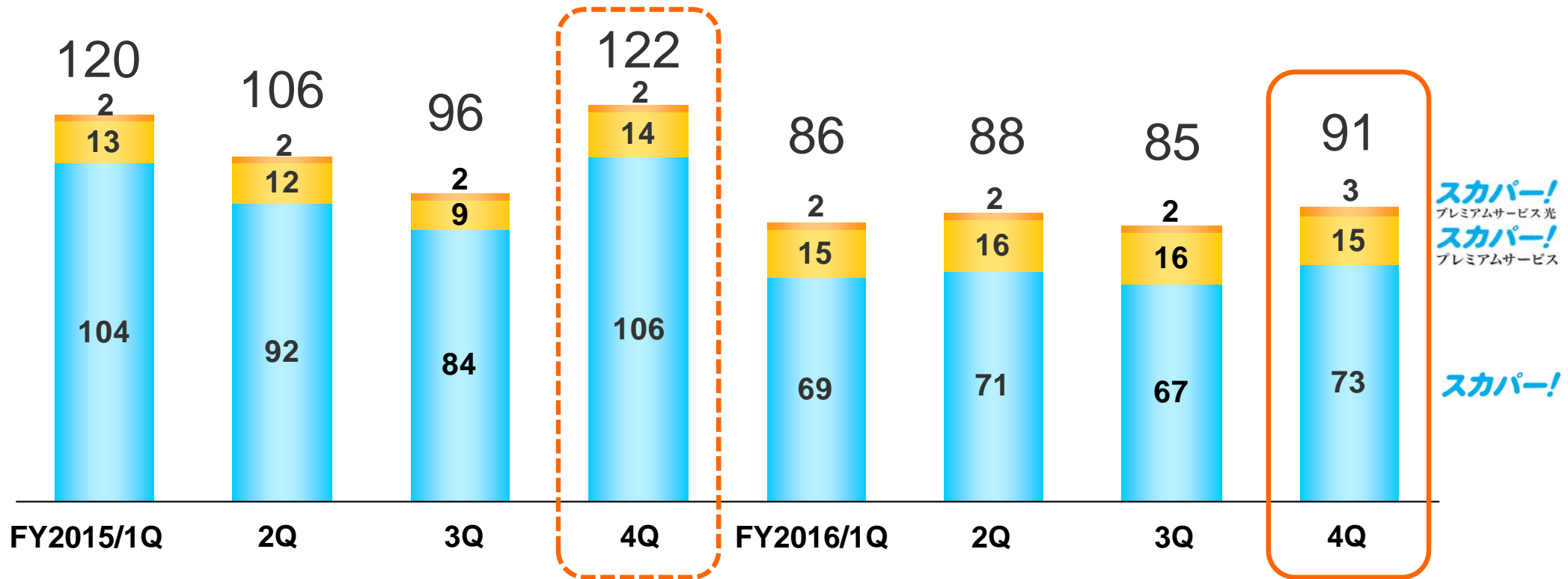
	FY2015/4Q 累計	FY2016/4Q 累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,806	7,029
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28,804	△22,882
フリー・キャッシュフロー (*1)	△3,997	△15,853
財務活動によるキャッシュ・フロー	18,586	13,469
現金及び現金同等物の期末残高(a)	48,557	46,150
有利子負債期末残高 (*2) (b)	64,137	82,753
純有利子負債期末残高 (b)－(a)	15,579	36,602

*1. 営業活動によるキャッシュフロー＋投資活動によるキャッシュフロー

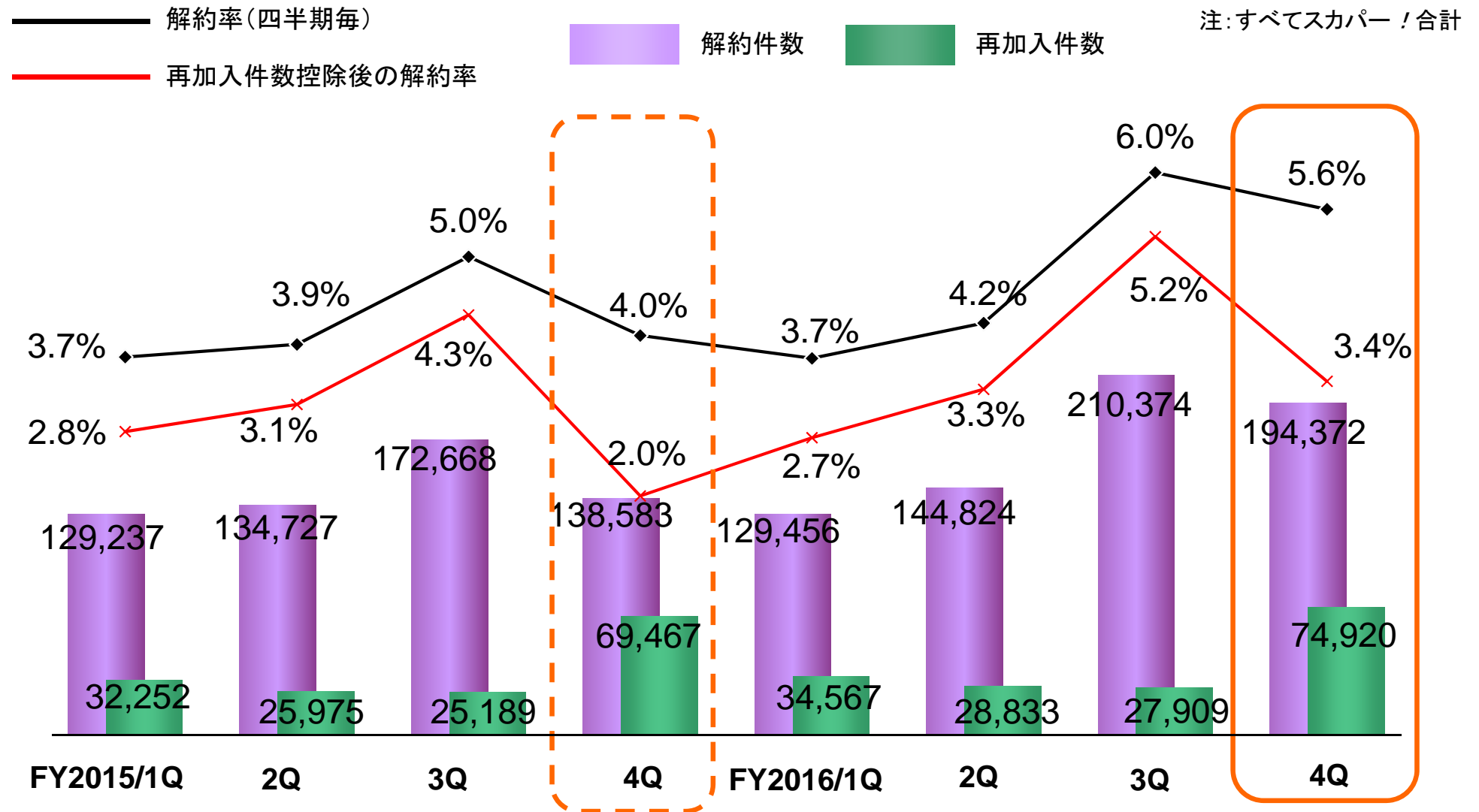
*2. 借入金＋無担保社債

新規加入件数の推移

(単位:千件)

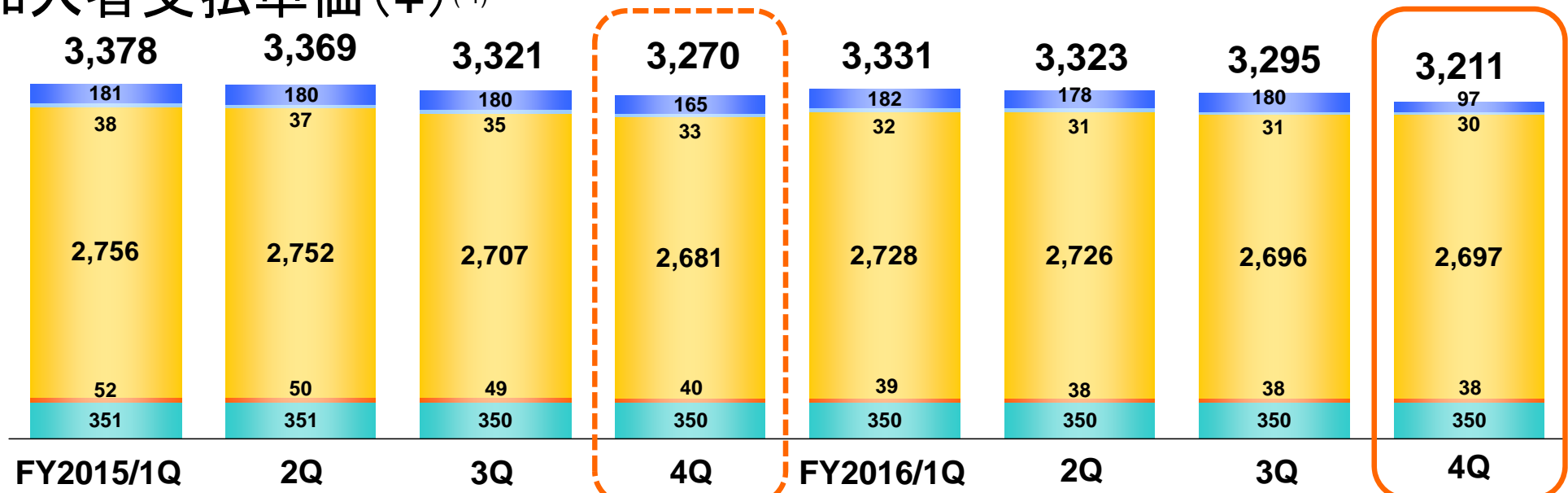


解約率の推移

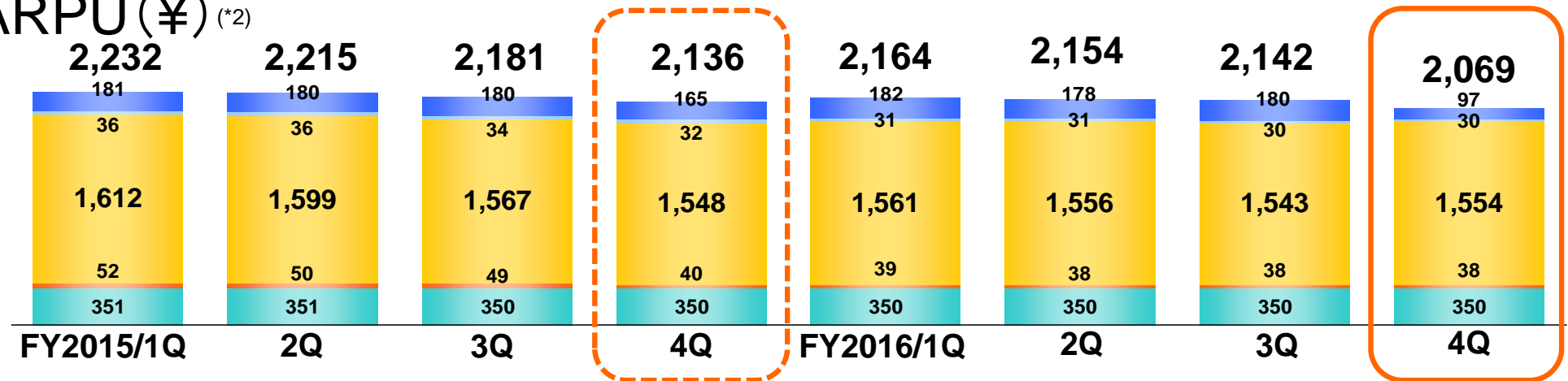


各四半期の解約件数合計を前年度末の累計加入件数で除した率を表示しております。

■ 加入者支払単価(¥) (*1)



■ ARPU(¥) (*2)



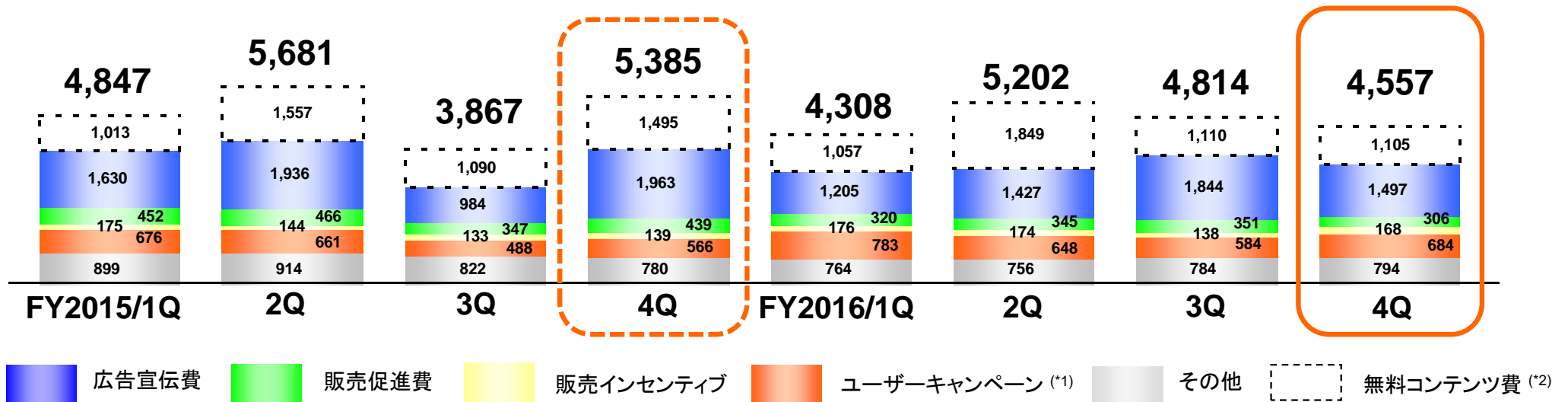
■ 基本料/件
 ■ レンタル会費/件
 ■ フラット視聴料/件
 ■ PPV視聴料/件
 ■ 自主コンテンツ収入/件

*1. 加入者が支払う月額視聴料等の平均単価

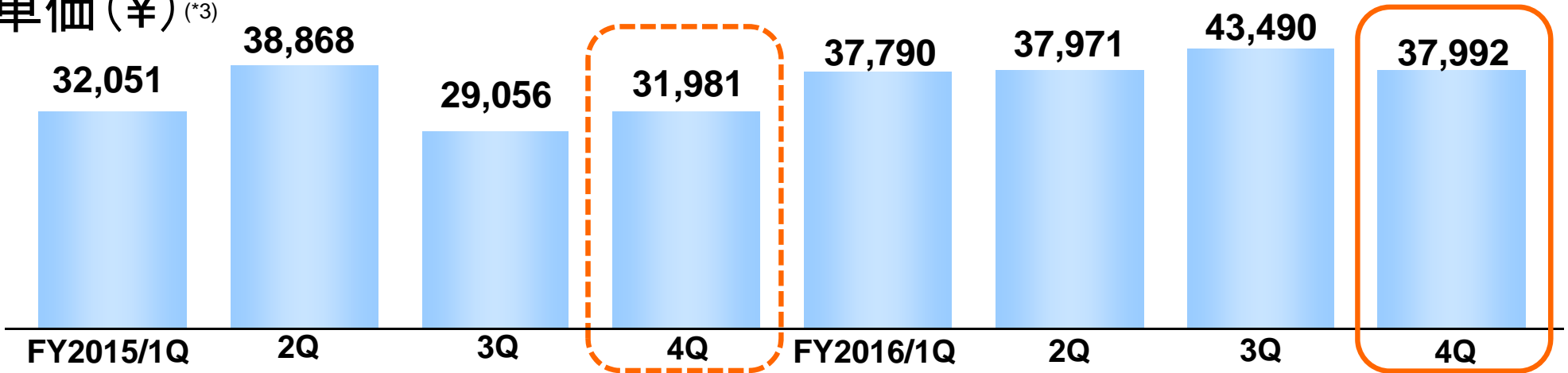
*2. 加入者が支払う月額視聴料等の平均単価の内、当社グループの営業収益として計上する金額

顧客獲得費用(SAC)

■ 総額(百万円)



■ 単価(¥) (*3)



*1. 各種顧客獲得キャンペーンに係る費用

*2. 「無料コンテンツ費」は、BSスカパー！の番組制作費等を含む。

*3. SAC単価は、SAC総額(ただし「無料コンテンツ費」は除く)を対象期間の新規加入件数で割った数値

子会社業績

(単位:百万円)

		SJC	SPCC	SPET	SPBC	SNET	JII	JMC	WWJ
事業内容		放送プラットフォーム、衛星通信	顧客管理	放送事業	コンテンツ制作、番組供給	衛星通信回線再販等	衛星通信回線販売	衛星移動通信サービス	海外向け日本コンテンツ配信
保有割合(%)		100	100	100	100	92	100	53.3	60
営業収益	FY2015/4Q	129,431	7,063	10,627	64,485	3,810	2,222	2,938	259
	FY2016/4Q	157,056	6,350	27,704	43,370	3,209	1,721	2,421	502
営業利益	FY2015/4Q	24,418	659	5	1,559	162	628	444	△1,748
	FY2016/4Q	22,456	443	701	1,157	△17	295	328	△2,207
経常利益	FY2015/4Q	24,782	662	5	1,584	164	532	435	△1,640
	FY2016/4Q	23,045	444	703	1,162	△21	365	316	△2,206

SJC:スカパーJSAT株式会社

SPCC:株式会社スカパー・カスタマーリレーションズ

SPET:株式会社スカパー・エンターテイメント

SPBC:株式会社スカパー・ブロードキャスティング

SNET:株式会社衛星ネットワーク

JII:JSAT International Inc.

JMC:JSAT MOBILE Communications株式会社

WWJ:WAKUWAKU JAPAN株式会社

※ 2016年12月1日付けで、株式会社スカパー・ブロードキャスティングが東経124/128度CS放送において行う衛星一般放送業務の事業を、株式会社スカパー・エンターテイメントに吸収分割し承継しております。

本資料に関するお問い合わせは、下記担当部までお願い致します。

株式会社スカパーJSATホールディングス
広報・IR部

TEL: 03-5571-1515

FAX: 03-5571-1760

E-Mail: ir@skyperfectjsat.co.jp